

# 「税金があって助かる命」

郡山市立緑ヶ丘中学校 二年 清野 凜

普段、税金と言うとそんなに意識をして考えた事のなかった私ですが、最近あるきっかけで税金を意識するようになりました。

それは、去年の12月に新型コロナに私も含め家族全員が感染した事です。病院の受診の時に普段なら払うはずの診察代を取られなかったので、父に聞いたら国の税金から支払われるから窓口で個別に払わなくても良いんだよと教えられました。さらには、家族全員が次々と感染し自宅療養で動けずにいた我が家に福島県から食料品などの支援物資が送られて来ました。それも無料でした。具合が悪くて家から出られずにいたところ本当に嬉しかったです。その時、具合が悪く働けなくて困ってる人は無料または定額で治療出来たら本当に助かると思いました。

ところで、私が生まれた時は、早産で出生体重1000g程でした。生死の境で直ぐに大学病院の乳児専用の集中治療室に半年入院したそうです。父母は医者から一人一ヶ月500万円くらい医療費がかかるよと言われびっくりしたそうです。でも実際は健康保険から治療費が支払われて一般の入院費と代わりなかったと笑って教えてもらいました。もしも、健康保険制度が無かったら半年で3000万円の入院治療費を支払わなければなりません。実際それだけの治療費を払える人はそんなにいないのではないのでしょうか。全額自己負担であれば、最初から治療してもらえず命を落としてしまったり、助かったとしても支払いきれないほどの借金を背負ったりする人が増えてしまうかもしれません。私は税金の恩恵を受けて今ここに生きていると言っても言い過ぎではないと思います。

日本では皆保険と言って全員が何かしらの健康保険組合に健康保険税を支払い、いざ病気になった時には医療機関の窓口で一定の金額を払うだけでいつでも受診する事が出来ます。外国ではそもそも健康保険制度が無かったり、あっても民間保険会社の制度を

利用する為に色々な制限から自由に受診出来ないそうです。仮に受診できたとしても風邪薬を処方してもらっただけで10万円以上請求される場合もあるそうです。日本のような一律定額でいつでも自由に治療を受ける事が出来る国は日本だけとも言えます。

人の命を左右する可能性もある大切な健康保険制度は税金で支えられています。私も助けられたこの命が、広く次のたくさんの命を救う為に大人になったらしっかり納税をしたいと思います。税とは納税する事でお互い助け合い支え合うそんな制度、自分達の生活の安心安全に直結し命と暮らしを守る制度であると思います。